

# 2025年12月期 決算短信〔日本基準〕(連結)



2026年2月13日

東

上場会社名 G-FACTORY株式会社  
 コード番号 3474 上場取引所 URL <https://g-fac.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 片平 雅之  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 田口 由香子 (TEL) 03-5325-6868  
 定時株主総会開催予定日 2026年3月26日 配当支払開始予定日 2026年3月27日  
 有価証券報告書提出予定日 2026年3月27日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

## 1. 2025年12月期の連結業績 (2025年1月1日～2025年12月31日)

		売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
2025年12月期	百万円	%	2024年12月期	百万円	%	2025年12月期	百万円	%	2024年12月期
6,465	6,348	1.8	△71	△20	—	△92	17	—	△251
									△332

(注) 包括利益 2025年12月期 △226百万円( -%) 2024年12月期 △304百万円( -%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
2025年12月期	円 銭	円 銭	%	%	%
△38.57	—	△19.8	△2.2	△1.1	
2024年12月期	△51.24	—	△21.8	0.4	△0.3

(参考) 持分法投資損益 2025年12月期 一百万円 2024年12月期 一百万円

(注) 潜在株式調整後 1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
2025年12月期	百万円	百万円	%	円 銭
3,970	1,180	29.3	177.86	
2024年12月期	4,365	1,463	31.5	211.00

(参考) 自己資本 2025年12月期 1,163百万円 2024年12月期 1,374百万円

## (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
2025年12月期	百万円	百万円	百万円	百万円
△7	△73	△151	1,230	
2024年12月期	248	△160	△180	1,453

## 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
2024年12月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—	—
2025年12月期	—	0.00	—	5.00	5.00	32	—	2.6
2026年12月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—

## 3. 2026年12月期の連結業績予想 (2026年1月1日～2026年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
通期	百万円	%	百万円	%	円 銭
6,900	6.7	66	—	70	—
				34	—
					5.42

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更  
新規 一社 (社名) - 、除外 一社 (社名) -

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

	2025年12月期	6,839,000株	2024年12月期	6,816,500株
	2025年12月期	300,000株	2024年12月期	300,000株
	2025年12月期	6,524,965株	2024年12月期	6,496,340株

(参考) 個別業績の概要

1. 2025年12月期の個別業績(2025年1月1日～2025年12月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
2025年12月期	5,604	3.0	140	△45.1	144	△55.1	103	—	
2024年12月期	5,444	32.7	256	2.4	322	20.5	△269	—	
		1株当たり 当期純利益						潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	
2025年12月期		円 銭	15.81	円 銭	15.78				
2024年12月期		△41.52	—						

(注) 2024年12月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円 銭		
2025年12月期	4,837		2,180		44.9	332.14		
2024年12月期	4,936		2,132		41.8	316.32		

(参考) 自己資本 2025年12月期 2,171百万円 2024年12月期 2,061百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	7
連結損益計算書 .....	7
連結包括利益計算書 .....	8
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	13
(継続企業の前提に関する注記) .....	13
(セグメント情報等) .....	13
(1 株当たり情報) .....	17
(重要な後発事象) .....	17

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、インバウンド需要の拡大や賃上げ等による雇用・所得環境の改善を背景に、景気は緩やかな回復基調が継続いたしました。一方で、物価上昇の長期化による消費者マインドへの影響に加え、金融資本市場の変動や国際情勢の不確実性などを背景に、個人消費の先行きについては依然として不透明な状況が続いております。

当社グループの主力取引先である飲食業界におきましては、人流の回復やインバウンド需要の拡大を背景に外食需要は総じて堅調に推移いたしました。しかしながら、人手不足の常態化に伴う人件費の上昇や、原材料価格、エネルギー単価の高騰などにより、経営環境は引き続き厳しい状況が続いております。

そのような状況下、当社グループは、国内の飲食店をはじめとするサービス業の成長を支援することを第一に、「夢をカタチに！和食を世界に！」という企業スローガンのもと、和食文化を日本国内から世界の各地域へ広げる架け橋となることを目指してまいりました。

経営サポート事業と飲食事業を両輪とする事業構造のもと、両事業の連動によって当社独自の「プラットフォーム」を形成し、飲食店経営の現場ニーズから生まれた各種サービスを提供することで、事業間のシナジーを活かした収益創出モデルの確立を進めてまいりました。具体的には、「名代 宇奈とと」のライセンス展開をはじめとするブランドビジネスの推進に加え、飲食事業で培ったノウハウや課題解決力を活かし、出退店支援、人材支援、海外進出支援等、時代とともに高度化・多様化する飲食店経営のニーズに対応したサービスの拡充に取り組んでまいりました。

また、中長期的な成長と収益力の向上を見据え、国内外における管理体制の強化や人的資本への投資を進めるとともに、事業基盤の再構築に取り組んでまいりました。

この結果、当第連結会計年度の売上高は6,465,324千円（前連結会計年度比1.8%増）、営業損失は71,749千円（前連結会計年度は営業損失20,801千円）、経常損失は92,397千円（前連結会計年度は経常利益17,182千円）、親会社株主に帰属する当期純損失は251,680千円（前連結会計年度は親会社株主に帰属する当期純損失332,890千円）となりました。

セグメントごとの経営成績の状況は、次のとおりであります。

#### ① 経営サポート事業

当連結会計年度においては、退店希望顧客および空き物件情報の獲得が順調に進むとともに、出店希望顧客に対する支援体制の強化により、出退店サポートの契約数が着実に増加いたしました。これにより、ストック型収益を中心とした安定的な収益基盤の構築が進展いたしました。

また、外国人材紹介サポートにつきましては、特定技能制度を背景とした人材需要の高まりを受け、新たな収益源として売上高の増加に寄与いたしました。一方で、同事業における対象国・対象分野の拡充を目的として、ミャンマーおよびインドネシアを中心に営業人員の増強を実施したことから、人件費が増加しております。

その結果、当セグメントの売上高は3,025,985千円（前連結会計年度比4.5%増）、営業利益は457,723千円（前連結会計年度比1.1%増）となりました。

#### ② 飲食事業

当連結会計年度においては、成長投資として注力しているベトナム事業において、既存店の収益力向上および新規出店の寄与により大幅な增收となり、飲食事業全体の売上高を牽引いたしました。一方、原材料価格の高騰を踏まえた防衛策として、国内ライセンス店舗に対するロイヤリティ減額措置を継続し、ブランドおよび顧客基盤の維持を優先した運営を行いました。また、国内レストラン業態における不採算店舗の整理および徹底した再編を進め、店舗構成の最適化を図ることで、利益の「質」の改善に取り組みました。

一方で、将来の収益最大化に向けた人員増強や、ベトナムを中心とした海外拠点の体制強化、および国内新店舗立ち上げに伴う採用・教育投資を実施したことにより人件費が増加したほか、不採算店舗の整理および撤退に関連する費用が発生いたしました。

その結果、当セグメントの売上高は、3,439,339千円（前連結会計年度比0.4%減）、営業利益は43,503千円（前連結会計年度比54.1%減）となりました。

## (2) 当期の財政状態の概況

### ① 資産の部

当連結会計年度末の資産は前連結会計年度末より394,628千円減少して3,970,710千円となりました。これは主に、流動資産その他が31,869千円、有形固定資産その他が43,213千円、差入保証金が37,510千円増加した一方で、現金及び預金が222,367千円、建物及び構築物が217,292千円、繰延税金資産が30,038千円減少したことによるものであります。

### ② 負債の部

当連結会計年度末の負債は前連結会計年度末より111,324千円増加して2,790,235千円となりました。これは主に、1年内返済予定の長期借入金が40,373千円、長期預り保証金が53,262千円増加した一方で、長期借入金が197,345千円減少したことによるものであります。

### ③ 純資産の部

当連結会計年度末の純資産は前連結会計年度末より283,303千円減少して1,180,474千円となりました。これは主に、為替換算調整勘定が32,317千円増加した一方で、利益剰余金が251,680千円、新株予約権が62,712千円減少したことによるものであります。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）の残高は、前連結会計年度末に比べ222,449千円減少し、1,230,705千円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、7,315千円（前連結会計年度は248,337千円の収入）となりました。この内訳は主に、税金等調整前当期純損失210,068千円、減価償却費182,356千円、減損損失108,264千円、その他の流動資産の増加額37,153千円、その他の流動負債の増加額61,081千円、長期預かり保証金の減少額47,521千円、長期前受収益の減少額48,514千円、法人税等の支払額55,413千円であります。

### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、73,567千円（前連結会計年度は160,979千円の支出）となりました。この内訳は主に、有形固定資産の取得による支出126,941千円、差入保証金の差入による支出95,791千円、経営サポート事業における長期預り保証金の返還による支出67,102千円、長期預り保証金の受入による収入178,275千円であります。

### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、151,443千円（前連結会計年度は180,927千円の支出）となりました。この内訳は主に、長期借入金の返済による支出156,972千円であります。

### (参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2021年12月期	2022年12月期	2023年12月期	2024年12月期	2025年12月期
自己資本比率(%)	32.8	38.5	36.7	31.5	29.3
時価ベースの自己資本比率(%)	55.4	56.0	48.3	101.2	99.30
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(%)	285.5	269.7	1,164.0	377.60	—
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	65.7	65.8	14.3	35.2	—

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注1) いずれも連結ベースの財務数値により計算しています。

(注2) 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しています。

(注3) キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しています。

(注4) 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としています。

#### (4) 今後の見通し

飲食店を中心としたサービス業を取り巻く環境は、人流の回復やインバウンド需要の拡大を背景に、外食需要は引き続き堅調に推移することが見込まれる一方で、人手不足の常態化に伴う人件費の上昇や、エネルギー価格および原材料価格の高止まりなどにより、経営環境は依然として不透明な状況が続くものと想定されます。

このような環境下において、当社グループは「夢をカタチに！和食を世界に！」という企業スローガンのもと、経営サポート事業と飲食事業を両輪とする独自の「プラットフォーム」をさらに進化させ、両事業の連動によるシナジーを最大化することで、持続的な成長と収益力の向上を図ってまいります。

経営サポート事業においては、出退店サポートを中心としたストック型収益の着実な積み上げに加え、特定技能制度を追い風とした外国人材紹介サポートの拡大を通じて、安定的かつ高収益な事業基盤の構築を進めてまいります。また、外国人材紹介サポートを中心とした人材関連事業への投資を継続し、事業規模の拡大と収益性の向上を目指してまいります。

飲食事業においては、前期に実施した不採算店舗の整理および構造改革の効果を活かし、国内飲食事業の収益力回復を図るとともに、ベトナム事業を中心とした海外事業の成長を加速させ、新たな収益の柱として育成してまいります。また、「名代 宇奈とと」およびレストラン業態におけるブランド価値の向上とライセンス展開を推進し、収益性の向上を図るとともに、飲食事業で培ったノウハウやネットワークを経営サポート事業へ還元することで、グループ全体の競争力強化につなげてまいります。

上記より、2026年12月期の連結業績予想につきましては、売上高6,900百万円、営業利益66百万円、経常利益70百万円、親会社株主に帰属する当期純利益34百万円を見込んでおります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国内の同業他社との比較可能性を考慮し、当面においては日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、今後の I F R S (国際財務報告基準) の採用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適正に対応していく方針であります。

### 3. 連結財務諸表及び主な注記

#### (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当連結会計年度 (2025年12月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	1, 454, 488	1, 232, 120
売掛金	206, 562	185, 819
リース投資資産	39, 836	18, 988
商品	73, 059	74, 101
前払費用	254, 836	271, 817
その他	53, 253	85, 123
貸倒引当金	△115	—
流動資産合計	2, 081, 921	1, 867, 971
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物（純額）	660, 817	443, 524
建設仮勘定	1, 500	—
その他（純額）	47, 357	90, 570
有形固定資産合計	709, 675	534, 095
<b>無形固定資産</b>		
その他	18, 940	20, 093
無形固定資産合計	18, 940	20, 093
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	5, 438	9, 821
繰延税金資産	255, 524	225, 485
差入保証金	1, 219, 217	1, 256, 727
その他	76, 589	58, 483
貸倒引当金	△1, 967	△1, 967
投資その他の資産合計	1, 554, 802	1, 548, 549
<b>固定資産合計</b>	<b>2, 283, 417</b>	<b>2, 102, 738</b>
<b>資産合計</b>	<b>4, 365, 339</b>	<b>3, 970, 710</b>

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当連結会計年度 (2025年12月31日)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
買掛金	168,055	164,668
1年内返済予定の長期借入金	156,972	197,345
未払費用	191,814	217,261
前受収益	190,143	209,251
未払法人税等	22,664	451
その他	378,096	359,450
<b>流動負債合計</b>	<b>1,107,745</b>	<b>1,148,428</b>
<b>固定負債</b>		
長期借入金	780,741	583,396
繰延税金負債	5,869	4,445
長期預り保証金	904,961	958,223
長期前受収益	98,430	95,742
その他	3,813	—
<b>固定負債合計</b>	<b>1,793,815</b>	<b>1,641,807</b>
<b>負債合計</b>	<b>2,901,560</b>	<b>2,790,235</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	53,460	56,227
資本剰余金	633,283	636,050
利益剰余金	772,206	520,526
自己株式	△243,933	△243,933
<b>株主資本合計</b>	<b>1,215,016</b>	<b>968,871</b>
<b>その他の包括利益累計額</b>		
その他有価証券評価差額金	629	2,523
為替換算調整勘定	159,304	191,622
<b>その他の包括利益累計額合計</b>	<b>159,934</b>	<b>194,145</b>
<b>新株予約権</b>	<b>71,557</b>	<b>8,845</b>
<b>非支配株主持分</b>	<b>17,269</b>	<b>8,612</b>
<b>純資産合計</b>	<b>1,463,778</b>	<b>1,180,474</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>4,365,339</b>	<b>3,970,710</b>

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)	当連結会計年度 (自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)
売上高	6,348,793	6,465,324
売上原価	3,288,578	3,409,277
売上総利益	3,060,215	3,056,047
販売費及び一般管理費	3,081,017	3,127,797
営業損失(△)	△20,801	△71,749
営業外収益		
受取利息	412	5,443
受取配当金	192	297
為替差益	37,652	—
助成金収入	733	3,021
協賛金収入	2,011	2,043
その他	4,527	4,594
営業外収益合計	45,531	15,400
営業外費用		
支払利息	7,146	6,510
為替差損	—	29,480
その他	400	57
営業外費用合計	7,547	36,048
経常利益又は経常損失(△)	17,182	△92,397
特別利益		
固定資産売却益	507	6,747
新株予約権戻入益	—	66,140
違約金収入	1,088	5,552
受取和解金	10,843	48,219
特別利益合計	12,440	126,660
特別損失		
固定資産売却損	—	2,167
固定資産除却損	1,352	5,843
減損損失	418,538	108,264
和解金	8,166	48,546
出資金評価損	—	17,328
訴訟関連損失	13,857	27,701
店舗閉鎖損失	—	34,478
特別損失合計	441,914	244,330
税金等調整前当期純損失(△)	△412,292	△210,068
法人税、住民税及び事業税	65,314	22,695
法人税等調整額	△144,493	27,803
法人税等合計	△79,179	50,499
当期純損失(△)	△333,113	△260,567
非支配株主に帰属する当期純損失(△)	△222	△8,887
親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△332,890	△251,680

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)	当連結会計年度 (自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)
当期純損失（△）	△333,113	△260,567
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△264	1,893
為替換算調整勘定	28,784	32,547
その他の包括利益合計	28,519	34,441
包括利益	△304,593	△226,126
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△305,970	△217,469
非支配株主に係る包括利益	1,376	△8,657

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	50,357	630,180	1,105,097	△243,933	1,541,702
当期変動額					
新株の発行（新株予約権の行使）	3,102	3,102			6,205
親会社株主に帰属する当期純損失（△）			△332,890		△332,890
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	3,102	3,102	△332,890	—	△326,685
当期末残高	53,460	633,283	772,206	△243,933	1,215,016

	その他の包括利益累計額			新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	894	132,119	133,013	37,362	15,893	1,727,972
当期変動額						
新株の発行（新株予約権の行使）						6,205
親会社株主に帰属する当期純損失（△）						△332,890
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△264	27,184	26,920	34,195	1,376	62,491
当期変動額合計	△264	27,184	26,920	34,195	1,376	△264,193
当期末残高	629	159,304	159,934	71,557	17,269	1,463,778

当連結会計年度(自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	53,460	633,283	772,206	△243,933	1,215,016
当期変動額					
新株の発行（新株予約権の行使）	2,767	2,767			5,535
親会社株主に帰属する当期純損失（△）			△251,680		△251,680
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	2,767	2,767	△251,680	—	△246,145
当期末残高	56,227	636,050	520,526	△243,933	968,871

	その他の包括利益累計額			新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	629	159,304	159,934	71,557	17,269	1,463,778
当期変動額						
新株の発行（新株予約権の行使）						5,535
親会社株主に帰属する当期純損失（△）						△251,680
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	1,893	32,317	34,211	△62,712	△8,657	△37,158
当期変動額合計	1,893	32,317	34,211	△62,712	△8,657	△283,303
当期末残高	2,523	191,622	194,145	8,845	8,612	1,180,474

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)	当連結会計年度 (自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純損失（△）	△412,292	△210,068
減価償却費	228,021	182,356
減損損失	418,538	108,264
のれん償却額	13,520	—
長期前払費用償却額	32,976	31,798
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△86	△115
受取利息及び受取配当金	△605	△5,741
支払利息	7,146	6,510
為替差損益（△は益）	△38,434	15,331
固定資産売却損益（△は益）	△507	△4,579
固定資産除却損	1,352	5,843
売上債権の増減額（△は増加）	△76,027	13,464
棚卸資産の増減額（△は増加）	△16,405	△823
リース投資資産の増減額（△は増加）	29,845	20,848
その他の流動資産の増減額（△は増加）	△29,211	△37,153
長期前払費用の増減額（△は増加）	△7,272	△13,522
仕入債務の増減額（△は減少）	21,197	△3,360
未払金の増減額（△は減少）	5,697	5,147
その他の流動負債の増減額（△は減少）	139,762	61,081
長期預り保証金の増減額（△は減少）	△1,355	△47,521
長期前受収益の増減額（△は減少）	△70,379	△48,514
その他	47,798	△30,717
小計	293,280	48,529
利息及び配当金の受取額	604	5,721
利息の支払額	△7,055	△6,516
法人税等の支払額	△46,388	△55,413
法人税等の還付額	7,896	362
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>248,337</b>	<b>△7,315</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の払戻による収入	1,593	—
有形固定資産の取得による支出	△178,039	△126,941
有形固定資産の売却による収入	601	15,700
無形固定資産の取得による支出	△19,548	△5,394
投資有価証券の取得による支出	△1,353	△1,437
差入保証金の差入による支出	△142,688	△95,791
差入保証金の回収による収入	39,311	29,135
長期預り保証金の返還による支出	△50,559	△67,102
長期預り保証金の受入による収入	181,409	178,275
その他	8,294	△10
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△160,979</b>	<b>△73,567</b>

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)	当連結会計年度 (自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△187,129	△156,972
ストックオプションの行使による収入	6,205	5,535
配当金の支払額	△3	△6
その他	△0	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△180,927	△151,443
現金及び現金同等物に係る換算差額	44,630	9,877
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△48,939	△222,449
現金及び現金同等物の期首残高	1,502,094	1,453,155
現金及び現金同等物の期末残高	1,453,155	1,230,705

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

### 【セグメント情報】

#### 1 報告セグメントの概要

##### (1) 報告セグメントの決定方法

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。当社においては、飲食店支援を目的とした経営サポート事業と、飲食店の運営を行っている飲食事業を開展しております。

従って、当社グループはその事業別に「経営サポート事業」及び「飲食事業」を2つの報告セグメントとしております。

##### (2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

「経営サポート事業」は、物件情報サポート、内装設備サポート、まるごとサポート及びその他サポートによって飲食店のサポートを行っております。

当連結会計年度より、事業内容及び金額的重要性を考慮し、従来、物件情報サポート、内装設備サポート、まるごとサポートに区分していたものを、「出退店サポート」へ集約しております。このため、前連結会計年度については、変更後の数値に組み替えております。

「飲食事業」は、店舗における飲食業を行っております。

#### 2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自 2024年1月1日 至 2024年12月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	経営サポート 事業	飲食事業	計		
売上高 外部顧客への売上高 セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,896,121 —	3,452,672 —	6,348,793 —	— —	6,348,793 —
計	2,896,121	3,452,672	6,348,793	—	6,348,793
セグメント利益又は損失 (△)	452,539	94,861	547,400	△568,202	△20,801
セグメント資産	1,997,994	627,237	2,625,232	1,740,106	4,365,339
その他の項目 減価償却費 のれんの償却額 有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	45,076 — 45,350	174,608 13,520 142,792	219,684 13,520 188,143	8,336 — 18,219	228,021 13,520 206,363

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益又は損失(△)の調整額△568,202千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。
- (2) セグメント資産の調整額1,740,106千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産に係るものであります。
- (3) 減価償却費の調整額8,336千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産に係るものであります。
- (4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額18,219千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産に係るものであります。

2. セグメント利益又は損失(△)は連結財務諸表の営業損失と調整を行っております。

当連結会計年度（自 2025年1月1日 至 2025年12月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	経営サポート 事業	飲食事業	計		
売上高 外部顧客への売上高 セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,025,985 —	3,439,339 —	6,465,324 —	— —	6,465,324 —
計	3,025,985	3,439,339	6,465,324	—	6,465,324
セグメント利益又は損失 (△)	457,723	43,503	501,226	△572,976	△71,749
セグメント資産	1,944,021	524,540	2,468,562	1,502,148	3,970,710
その他の項目 減価償却費 のれんの償却額 有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	70,323 — 38,855	100,780 — 84,436	171,103 — 123,291	11,252 — 5,079	182,356 — 128,371

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益又は損失(△)の調整額△572,976千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。
- (2) セグメント資産の調整額1,502,148千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産に係るものであります。
- (3) 減価償却費の調整額11,252千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産に係るものであります。
- (4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額5,079千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産に係るものであります。

2. セグメント利益又は損失(△)は連結財務諸表の営業損失と調整を行っております。

## 【関連情報】

前連結会計年度（自 2024年1月1日 至 2024年12月31日）

### 1. 製品及びサービスごとの情報

(単位：千円)

	出退店 サポート	その他 サポート	飲食事業	合計
外部顧客への売上高	2,623,702	272,419	3,452,672	6,348,793

### 2. 地域ごとの情報

#### (1) 売上高

(単位：千円)

日本	タイ	シンガポール	ベトナム	合計
5,678,850	18,654	317,887	333,400	6,348,793

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国別に分類しております。

#### (2) 有形固定資産

(単位：千円)

日本	タイ	シンガポール	ベトナム	合計
417,019	—	189,428	103,226	709,675

### 3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がいないため、記載はありません。

当連結会計年度（自 2025年1月1日 至 2025年12月31日）

### 1. 製品及びサービスごとの情報

(単位：千円)

	出退店 サポート	その他 サポート	飲食事業	合計
外部顧客への売上高	2,735,461	290,524	3,439,339	6,465,324

当連結会計年度より、事業内容及び金額的重要性を考慮し、従来、物件情報サポート、内装設備サポート、まるごとサポートに区分していたものを、「出退店サポート」へ集約しております。このため、前連結会計年度については、変更後の数値に組み替えております。

### 2. 地域ごとの情報

#### (1) 売上高

(単位：千円)

日本	タイ	シンガポール	ベトナム	合計
5,603,153	5,875	381,302	474,993	6,465,324

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国別に分類しております。

#### (2) 有形固定資産

(単位：千円)

日本	タイ	シンガポール	ベトナム	合計
450,595	—	25,952	57,546	534,095

### 3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がいないため、記載はありません。

#### 【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			全社・消去	合計
	経営サポート事業	飲食事業	計		
減損損失	31,855	386,682	418,538	—	418,538

当連結会計年度(自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			全社・消去	合計
	経営サポート事業	飲食事業	計		
減損損失	—	108,264	108,264	—	108,264

#### 【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			全社・消去	合計
	経営サポート事業	飲食事業	計		
当期償却額	—	13,520	13,520	—	13,520
当期末残高	—	—	—	—	—

当連結会計年度 (自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)

該当事項はありません。

#### 【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度 (自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)

該当事項はありません。

(1 株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)	当連結会計年度 (自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)
1 株当たり純資産額	211.00円	177.86円
1 株当たり当期純損失	△51.24円	△38.57円
潜在株式調整後 1 株当たり当期純利益	—	—

(注) 1. 潜在株式調整後 1 株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、1 株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

2. 1 株当たり当期純損失及び潜在株式調整後 1 株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)	当連結会計年度 (自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)
1 株当たり当期純損失		
親会社株主に帰属する当期純損失（千円）	△332,890	△251,680
普通株主に帰属しない金額（千円）		
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純損失（千円）	△332,890	△251,680
普通株式の期中平均株式数（株）	6,496,340	6,524,965
潜在株式調整後 1 株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額（千円）	—	—
普通株式増加数（株）	—	—
（うち新株予約権（株））	—	—
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後 1 株当たり当期純利益の算定に含まれなかった潜在株式の概要	—	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。